



# 2021年第2四半期 決算説明会

株式会社ブリヂストン

2021年8月10日

1. 2021年第2四半期累計 連結業績	・・・	2
2. 2021年通期 連結業績予想	・・・	13
3. 配当予想の修正について	・・・	18

# 1. 2021年第2四半期累計 連結業績

# 2021年第2四半期累計の業績概要と主な取り組み

## 2021年第2四半期累計 業績概要

- グローバルでのタイヤ需要回復の中、補修用を中心に販売を伸ばし、対前年で大幅な増収増益。
- 原材料高騰の影響を売値/Mixの改善でカバー。経費・コスト構造改革の効果も寄与し、2Qの調整後営業利益率は1Qからさらに改善。
- 半導体不足により新車用販売の回復が遅れているが、補修用販売構成の拡大（ビジネス構成良化）により収益性は向上。

- |       |   |
|-------|---|
| PS/LT | <ul style="list-style-type: none"><li>● 補修用/新車用ともに、高インチタイヤを中心に販売を拡大 – PSR HRD販売：対前年143%（対19年108%）</li><li>● 補修用：メジャーブランドへの集中を進めながら量を拡大。1Qに出遅れた北米販売は、2Qより挽回に入り回復基調。</li><li>● 新車用：対前年では大きく回復するも、半導体不足の影響により19年レベルへの回復にはまだ遠い状況。</li></ul> |
|-------|---|

- |    |  |
|----|--|
| TB | <ul style="list-style-type: none"><li>● 補修用：建設需要/運送需要が堅調に推移し、上期累計でほぼ19年と同レベルまで販売回復。</li><li>● 新車用：トラクター生産における半導体不足の影響が出ており、販売回復ペースがややスローダウン。</li></ul> |
|----|--|

- |     |   |
|-----|---|
| ORR | <ul style="list-style-type: none"><li>● 鉱山用タイヤ：今年に入り回復基調に転じているが、上期の販売は前年同水準に留まり、相対的にまだ回復が弱い。</li><li>● 建設用タイヤ：補修用/新車用ともに大きく販売増。特に補修用は19年の販売水準を上回り、その強さが際立つ。</li></ul> |
|-----|---|

## 中期事業計画に基づく、第2四半期の主な取り組み

- 「プレミアムビジネス戦略」：販売Mix改善/価格マネジメント強化 – 高インチタイヤ販売比率向上、メジャーブランドへの集中、戦略的売値改善  
プレミアム生産体制強化 – ブラジル・バイア工場 増強（EV,HRD,LT対応）、米国・空気バネ工場 増強（EV対応）
- 「経費・コスト構造改革」：生産現場改善 – モノづくり現場強化、既存設備最大活用による加工費改善 ⇒ 1～6月計：+120億円  
事業再編/生産拠点再編 – 中国・合成ゴム製造・販売子会社 売却（6月）、磐田工場 多角化事業生産品目の再編（8月）
- 「戦略的成長投資」：モビリティソリューション拡大に向けた成長投資 – Kodiak Robotics社への出資（6月）、Azuga Holdings Inc.の買収合意（8月）

# 2021年第2四半期累計 事業環境／タイヤ需要



## 為替

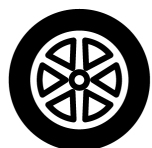
- USDは前年並み、EURは前年比円安で推移

1USD=108円 1EUR=130円 (参考) 20年第2四半期累計 1USD=108円 1EUR=120円



## 原材料

- 天然ゴムは、昨年来の価格高騰はやや落ち着くも、引き続き高値圏で推移。
- 原油は、第1～2四半期にかけて大きく高騰。



## タイヤ需要 (PSR/TBR)

- 米欧中心に前年比大幅回復。特に北米REPは19年を大きく上回る水準。
- OE需要は、半導体不足の影響により19年対比では依然低い水準に留まる。

### 相場動向（平均価格）推移

※1. Source: Singapore Commodity Exchange Limited 期近市況価格

	2020年				2021年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
天然ゴム 〈TSR20〉※1 (¢/kg)	133	111	128	154	167	<b>165</b>
天然ゴム 〈RSS#3〉※1 (¢/kg)	158	138	175	235	234	<b>221</b>
原油 〈WTI〉 (\$/bbl)	46	28	41	43	58	<b>66</b>

### 2021年1-6月 タイヤ需要（本数 対前年/対19年）

当社推定値	PSR				TBR			
	OE		REP		OE		REP	
	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年
日本	116%	85%	110%	96%	122%	108%	107%	94%
北米	136%	78%	135%	107%	148%	85%	135%	128%
欧州	135%	83%	126%	96%	148%	95%	133%	108%

# 2021年第2四半期累計 タイヤ販売本数：対前年 / 対19年



## PSR/LTR

	対前年	対19年
グローバル	124%	90%
<b>新車用タイヤ (OE)</b>		
グローバル	131%	83%
日本	112%	84%
北米	152%	83%
欧州	122%	81%
中国・アジア・大洋州	125%	83%

## 補修用タイヤ (REP)

グローバル	120%	94%
日本	114%	94%
北米	122%	94%
欧州	115%	91%
中国・アジア・大洋州	114%	87%



## TBR

	対前年	対19年
グローバル	124%	97%
<b>新車用タイヤ (OE)</b>		
グローバル	145%	90%
日本	125%	111%
北米	144%	77%
欧州	153%	93%
中国・アジア・大洋州	192%	119%

## 補修用タイヤ (REP)

グローバル	117%	99%
日本	108%	91%
北米	125%	117%
欧州	123%	103%
中国・アジア・大洋州	117%	90%



## ORR

	対前年	対19年
超大型(REPのみ)	103%	90%
大型	129%	104%
OE	182%	91%
REP	118%	109%
中小型	130%	102%
OE	159%	104%
REP	115%	101%



## PSR 18インチ以上

グローバル	143%	108%
REP	138%	123%

# 2021年第2四半期累計 連結業績

(単位：億円)

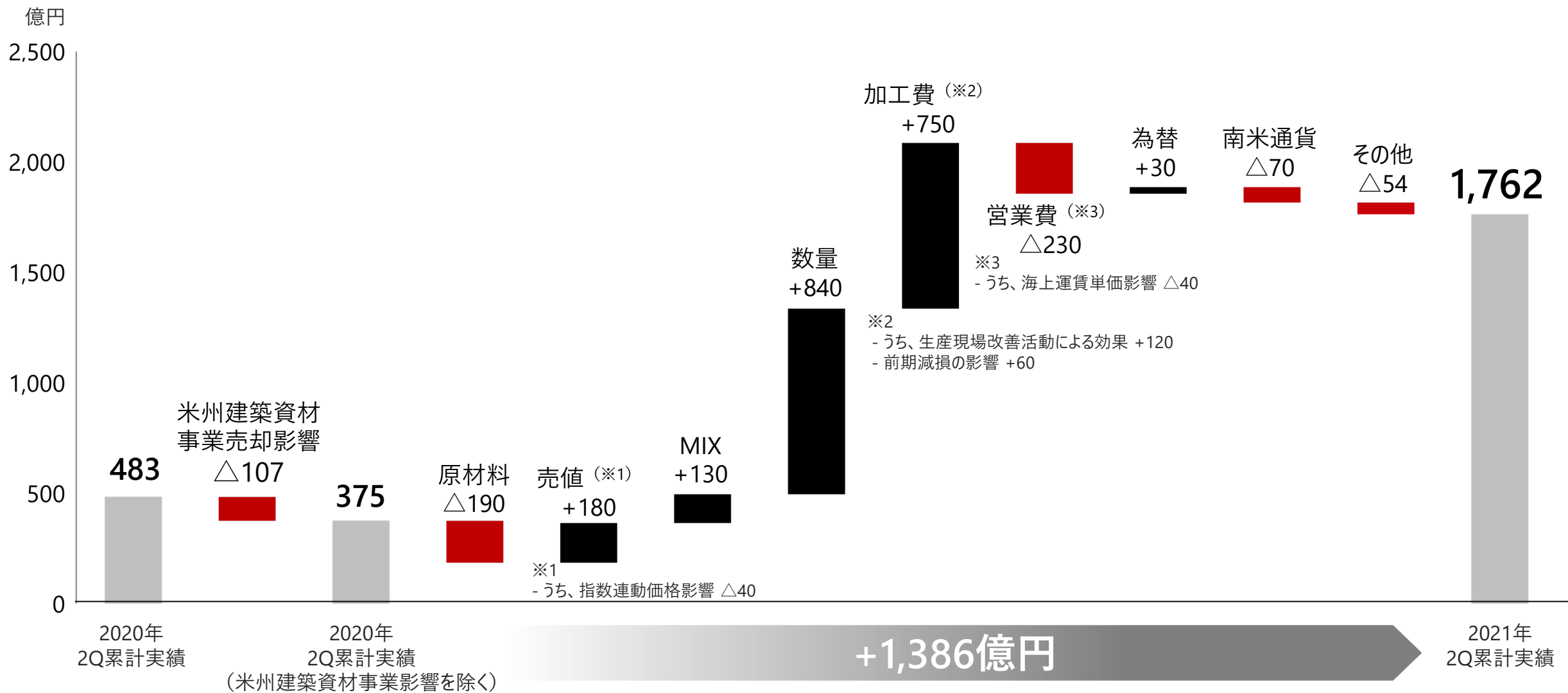
IFRS	2020年 第2四半期 累計実績 (注1)	第1四半期		第2四半期		2021年 第2四半期 累計実績 (注1)	前年比増減 (%) (注2)
			前年比増減 (%) (注2)		前年比増減 (%) (注2)		
売上収益	12,629	7,569	+7	8,119	+46	15,688	+24
調整後営業利益	375	823	+79	938	-	1,762	+369
利益率	3.0%	10.9%	+4.3pp	11.6%	+13.1pp	11.2%	+8.3pp
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△220	2,852	-	671	-	3,523	-
-うち継続事業	△302	603	+259	634	-	1,236	-
-うち非継続事業	82	2,250	-	37	△32	2,287	-
USドル	108円	106円	△3円	110円	+2円	108円	±0円
ユーロ	120円	128円	+8円	132円	+13円	130円	+10円

(注1) FIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却決定に伴い、2021年第1四半期連結会計期間よりFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類しております。

これに伴い、2021年の売上収益、調整後営業利益は、FSBPに関する収益・費用を除いた「継続事業」のみの金額となります。なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。

(注2) 前年比増減の算定に使用した2020年実績は、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に組み替えた金額です。

# 2021年第2四半期累計 調整後営業利益増減要因：前年差





# 2021年第2四半期累計 セグメント別業績

(単位：億円)

IFRS		2020年 第2四半期累計実績	2021年 第2四半期累計実績	前年比増減 (%)
<b>連結</b>	<b>売上収益</b>	<b>12,629</b>	<b>15,688</b>	<b>+24</b>
	日本	4,091	4,558	+11
	米州	5,263	6,698	+27
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	2,413	3,307	+37
	中国・アジア・大洋州	1,475	1,851	+25
<b>連結</b>	<b>調整後営業利益</b>	<b>375</b>	<b>1,762</b>	<b>+369</b>
	日本	197	367	+86
	米州	272	950	+249
	欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ	△142	163	-
	中国・アジア・大洋州	85	229	+170

(注) 2/16公表の決算説明会スライドに記載の通り、当社は新KPIとしてROICを導入したことに伴い、2021年より開示セグメント業績の算出方法を一部変更いたしました。




なお、対応する前年同期についても同様に組み替えて表示しております。

また、P.6に記載しております通り、これはFSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類し、組み替えた数値です。

# 2021年第2四半期累計 タイヤ事業 財別業績

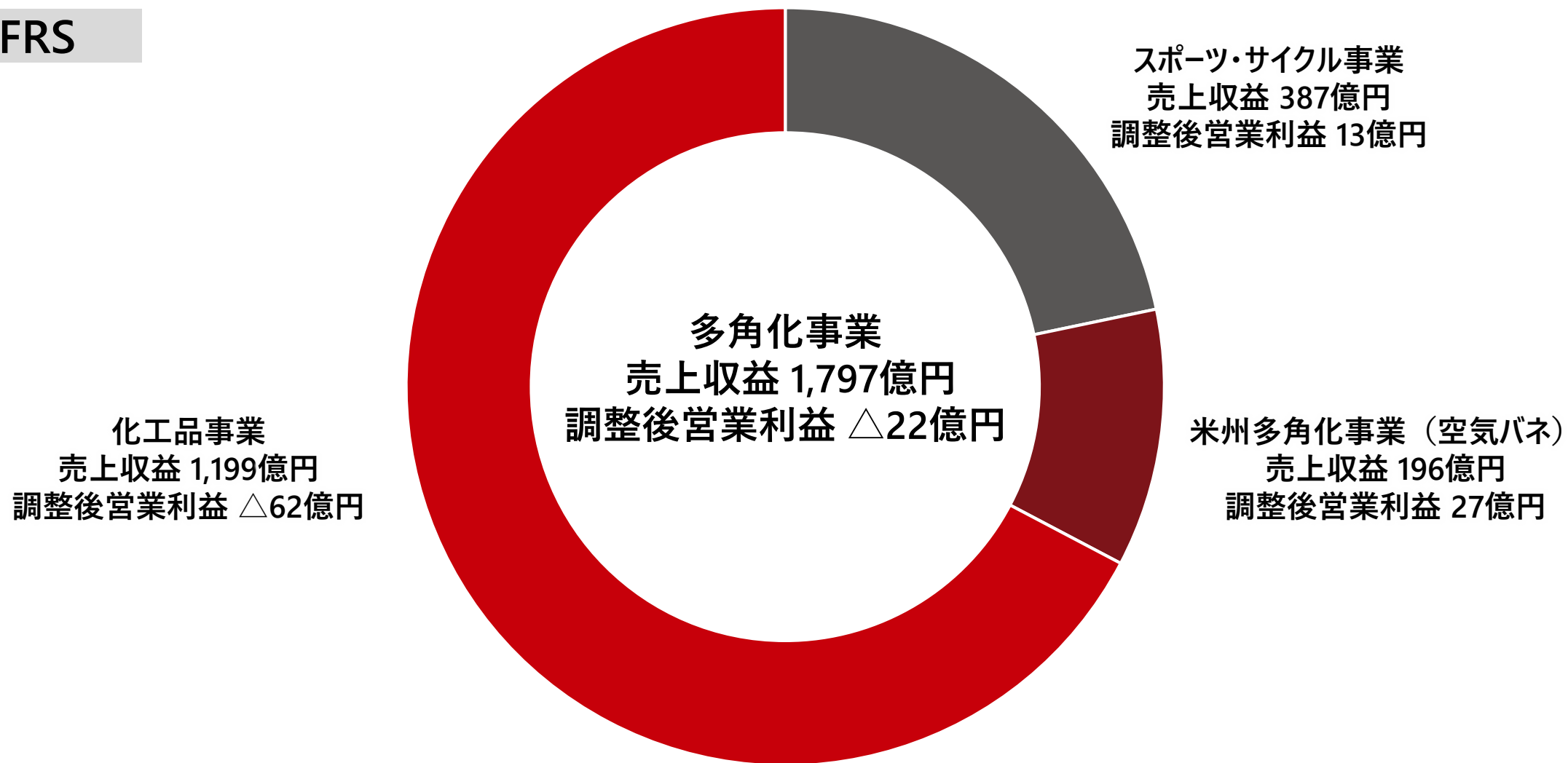
(単位：億円)

IFRS

		2020年 第2四半期累計実績	2021年 第2四半期累計実績	前年比増減 (%)
 <b>PS/LT</b> <small>※小売・クレジットカード事業を含む</small>	売上収益	6,292	7,894	+ 25
	調整後営業利益	98	1,121	-
	利益率	1.6%	14.2%	+ 12.6pp
 <b>TB</b> <small>※リトレッド事業を含む</small>	売上収益	2,982	3,700	+ 24
	調整後営業利益	152	410	+ 170
	利益率	5.1%	11.1%	+ 6.0pp
 <b>Specialties (OR/AC/AG/MC)</b>	売上収益	1,597	1,912	+ 20
	調整後営業利益	259	362	+ 39
	利益率	16.2%	18.9%	+ 2.7pp

# 2021年第2四半期累計 多角化事業 業績

IFRS



# 2021年第2四半期 財政状態計算書及びキャッシュ・フローハイライト

(単位：億円)

IFRS	2020年期末実績	2021年第2四半期期末実績	対前年末
	資産合計	41,893	44,364
資本合計	21,953	26,240	+ 4,287
親会社所有者帰属持分比率	51.3%	58.2%	+ 6.9pp
有利子負債〈ネット〉	1,956	△ 1,359	△3,316
	2020年第2四半期累計実績	2021年第2四半期累計実績	対前年同期
営業CF	1,452	1,154	△298
投資CF	△ 1,041	2,660	+ 3,701
フリーCF	410	3,814	+ 3,404
設備投資	1,136	942	△194
減価償却費及び償却費	1,292	1,217	△75

# 2021年第2四半期累計 「調整項目」及び「非継続事業からの四半期利益」について

2021年 第2四半期累計 実績 (単位：億円)

売上収益	15,688
調整後営業利益	1,762
調整項目	65
営業利益	1,697
税引前四半期利益	1,699
継続事業からの四半期利益 (注)	1,236
非継続事業からの四半期利益 (注)	2,287
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,523

(注) 「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を記載しております。

## 1) 調整項目

(単位：億円)

調整項目	65	主な内容
事業・工場再編費用	51	海外工場の閉鎖・再編関連費用
減損損失	17	-
その他	△ 3	受取保険金 他

## 2) 非継続事業からの四半期利益

- 当社は3月31日付でFIRESTONE BUILDING PRODUCTS (FSBP) の売却を完了し、当第1四半期より、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に分類しました。
- これに伴い、当第2四半期連結累計期間において、下記①、②の合計 2,287億円を「非継続事業からの四半期利益」として計上しました。

- ① FSBPを譲渡したことによる売却益
- ② 1月～3月の3か月間において、同事業により発生した四半期利益

## 2. 2021年通期 連結業績予想

# 2021年通期 業績予想策定前提

## 通期の事業環境／タイヤ需要見通し



### 為替

- USD：2月発表の計画想定(103円)対比、円安水準での推移を見込む。
- EUR：2月発表の計画想定(126円)対比、円安水準での推移を見込む。



### 原材料

- 天然ゴム・原油ともに、年間を通して高値圏での推移を想定。



### タイヤ需要 (PSR/TBR)

- グローバルでの回復基調継続により、前年からの堅調な需要増加を見込む。
- 半導体不足の影響は下期に解消に向かい、OE需要の回復を見込む。

## 為替動向 通期見通し

	2020年	2021年		
		上期	下期	通期
通期				
USDドル	107	108	108	108
ユーロ	122	130	128	129

## 通期 タイヤ需要見通し (本数前年比)

当社推定値	PSR				TBR			
	OE		REP		OE		REP	
	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年	対前年	対19年
日本	109%	92%	107%	97%	124%	108%	105%	95%
北米	116%	86%	114%	105%	128%	89%	116%	118%
欧州	111%	85%	110%	94%	131%	104%	111%	102%
アジア※1	110%	97%	107%	94%	95%	121%	113%	101%

※1 タイ・インドネシア・中国の3ヶ国計

# 2021年通期 タイヤ販売本数予想：対前年



## PSR/LTR

グローバル	111~115%
-------	----------

### 新車用タイヤ (OE)

グローバル	111~115%
-------	----------

日本	111~115%
----	----------

北米	121~125%
----	----------

欧州	106~110%
----	----------

中国・アジア・大洋州	111~115%
------------	----------

### 補修用タイヤ (REP)

グローバル	106~110%
-------	----------

日本	111~115%
----	----------

北米	111~115%
----	----------

欧州	101~105%
----	----------

中国・アジア・大洋州	106~110%
------------	----------



## TBR

グローバル	116~120%
-------	----------

### 新車用タイヤ (OE)

グローバル	131~135%
-------	----------

日本	126~130%
----	----------

北米	126~130%
----	----------

欧州	126~130%
----	----------

中国・アジア・大洋州	166~170%
------------	----------

### 補修用タイヤ (REP)

グローバル	111~115%
-------	----------

日本	106~110%
----	----------

北米	111~115%
----	----------

欧州	106~110%
----	----------

中国・アジア・大洋州	106~110%
------------	----------



## ORR

超大型(REPのみ)	106~110%
------------	----------

大型	131~135%
----	----------

OE	216~220%
----	----------

REP	116~120%
-----	----------

中小型	126~130%
-----	----------

OE	156~160%
----	----------

REP	111~115%
-----	----------



## PSR 18インチ以上

グローバル	121~125%
-------	----------

REP	126~130%
-----	----------



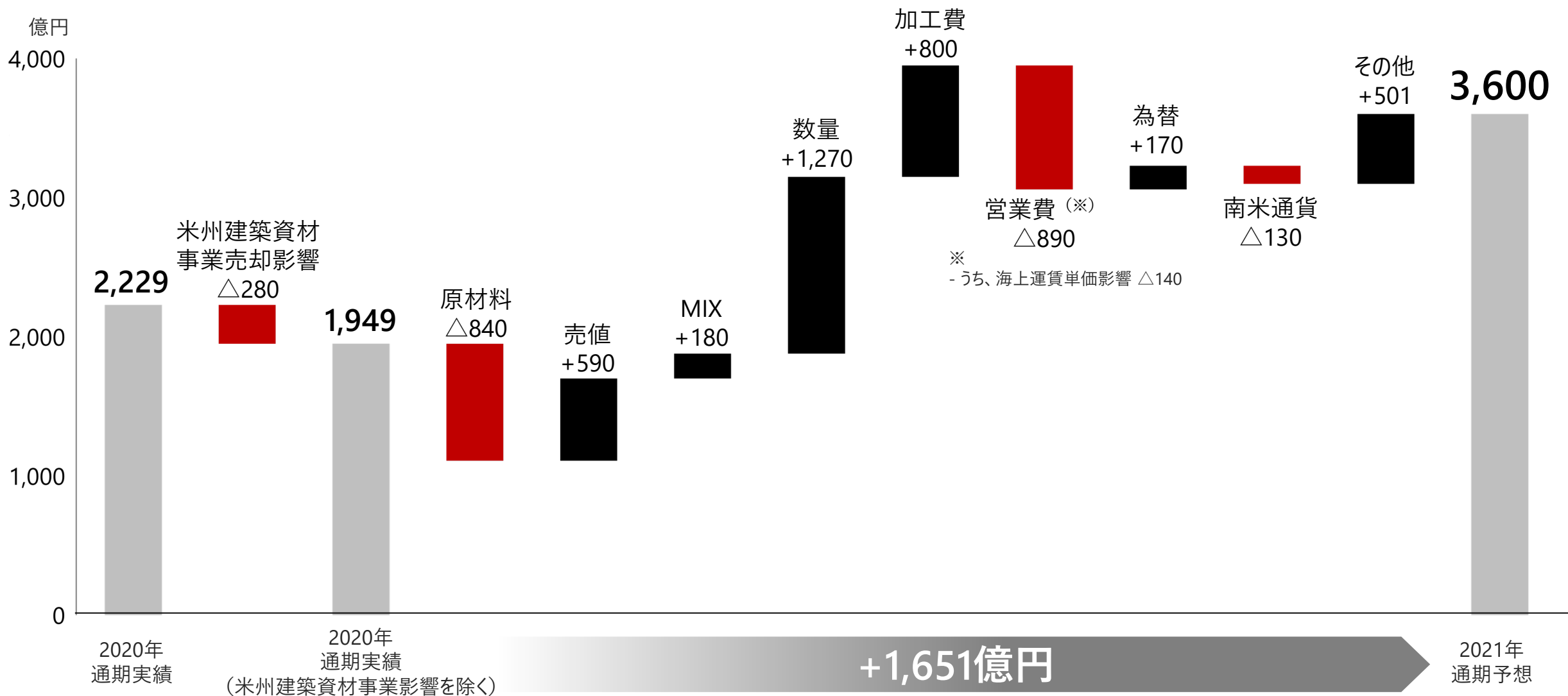
# 2021年通期 連結業績予想

(単位：億円)

IFRS	2020年 通期実績 (注)	2021年 通期予想	前年比増減 (%)	(参考 '21/2/16発表) 2021年通期予想
売上収益	28,054	33,200	+18	30,100
調整後営業利益	1,949	3,600	+85	2,600
利益率	6.9%	10.8%	+3.9pp	8.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△ 233	3,250	-	2,610
-うち継続事業	△ 452	2,300	-	1,500
-うち非継続事業	219	950	+333	1,110
USDドル	107円	108円	+1円	103円
ユーロ	122円	129円	+7円	126円
ROIC	4.8 %	8.3 %	+ 3.5 pp	6.3 %
ROE	△ 2.0 %	10.4 %	+ 12.4 pp	6.8 %

(注) 2020年通期実績は、FSBP及び同社の子会社を「非継続事業」に組み替えた金額です。これは概算値であり、会計監査の結果により変更する可能性があります。

# 2021年通期 調整後営業利益増減要因予想：前年差



### 3. 配当予想の修正について

# 配当予想の修正について

## 配当基本方針

- 当該期の業績、財政状態に加え、中期的な利益見通し、投資計画、キャッシュ・フロー等を総合的に勘案して、連結配当性向40%を目安に、持続的な企業価値向上を通じて、安定的且つ継続的な配当額の向上に努めることを基本とする。

## 2021年中間配当及び期末配当予想の修正

- 8月10日開催の取締役会において2021年度中間配当について決議いたしました。
- 2021年通期業績予想の修正に伴い、下記の通り今期の配当予想を修正いたします。

< 配当の状況 >	2020年度（実績）	2021年度	(参考 '21/2/16発表) 2021年度予想
中間	50円	85円	60円
期末	60円	85円（予想）	70円
合計	110円	170円（予想）	130円

- 今後も引き続き、持続的な企業価値向上を通じて、安定的且つ継続的な配当額の向上に努めてまいります。



#### 免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。